

ご回答ありがとうございました
デマンドタクシー・町内循環バスに関する意識調査の結果（概要版）をお知らせします

町では、現在運行中のデマンドタクシー・町内循環バスの運行改善と、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律」に基づく「地域公共交通網形成計画」策定の検討資料とするため、利用登録者への意識調査を行いました。（調査概要は左表のとおり）

意識調査には295件のご回答をいただきました。回答のございいただきました。調査結果の概要は下記のとおりです。

なお、調査結果の詳細は、町ホームページに掲載する予定です。

■問合せ 役場政策財政課 政策推進担当 ☎296-1212

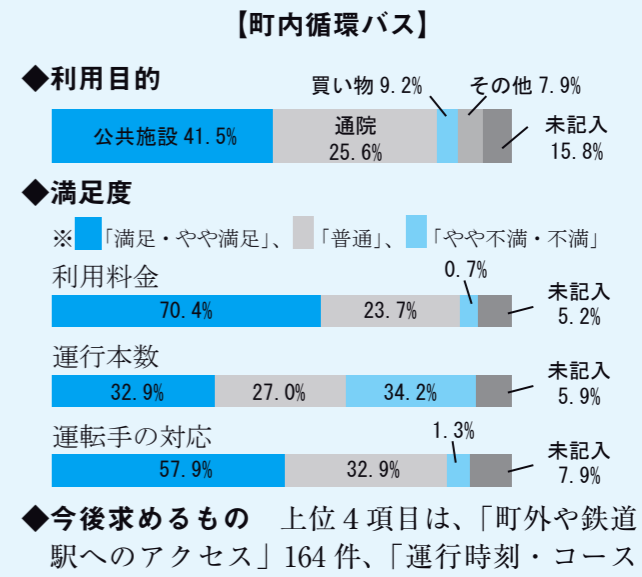
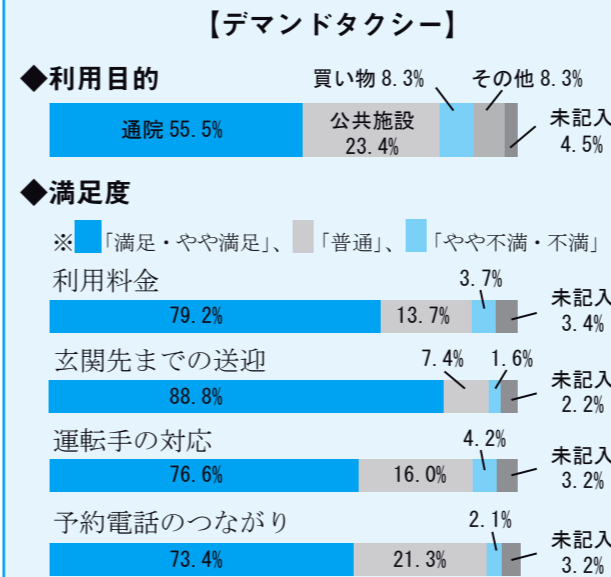


デマンドタクシー・町内循環バスに関する意識調査の概要

- 調査対象 平成26年7月1日現在で、16歳以上のデマンドタクシー利用登録者の中から無作為抽出した500人
- 調査方法 【配布】調査票および回答はがきを対象者に郵送 【回収】回答はがきの返送
- 調査期間 平成26年9月5日（金）～10月3日（金）まで
- 調査項目 設問総数26問（下表参照）
- 回答はがきの回収状況 配布数500枚、回収数295枚、回収率59.0%

意識調査結果の概要

- ◆基本情報（回答者の内訳）
- 【性別】女性71.2%、男性26.8%（未記入2.0%）
- 【居住地区】ニュータウン地区70.2%、今宿地区17.3%、亀井地区9.2%（未記入3.3%）
- 【年齢】70歳代38.2%、60歳代33.0%、80歳代19.6%、50歳代4.2%、その他4.6%（未記入0.4%）
- 【運転免許】持っていない方50.5%、持っている方42.4%（未記入7.1%）



◆今後求めるもの 上位4項目は、「町外や鉄道駅へのアクセス」164件、「運行時刻・コースの見直し」98件、「特に求めるものはない」45件、「バス待ちスポット等の整備」36件でした。（複数回答）

◆自由意見 「亀井地区にも運行してほしい」「利用している人が少ないように見える」など

※自由意見は、内容が変わらない程度に修正しています。

◆今後求めるもの 上位4項目は、「町外や鉄道駅へのアクセス」186件、「土・日、祝日の運行」145件、「夜間の運行」52件、「早朝の運行」50件でした。（複数回答）

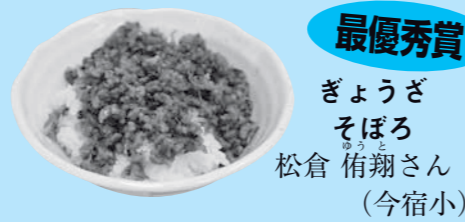
◆自由意見 「高齢者にとってはなくてはならない“足”です」「町外、せめて西地区（坂戸市）まで行けるようにしてほしい」など

応募総数79点の中から

「はとっ子給食レシピコンテスト2014」

入選作品が決定

給食でこれが食べたい！部門



地産地消部門



町保健センターでは、乳幼児期・青少年期の食事の基礎づくりを推進するため、子どもたちの食育を考えるプロジェクト「はとっ子給食レシピコンテスト2014」を実施しました。平成24年から始まったこのコンテスト、今年も審査の結果、「地産地消部門」の最優

秀賞には伊藤 杏純さん（大学生）の「鳩豆入り豆乳シチュー」が、「給食でこれが食べたい！」部門「の最優秀賞には松倉 侑翔さん（今宿小）の「ぎょうざそぼろ」が選ばれました。このコンテストでは、入選作品の中から数点が、今年度学校給食のメニューとして採用される予定です。受賞した皆さん、おめでとうございます。

■問合せ 町保健センター ☎296-12530



一次審査通過作品を試食にて二次審査

応募作品は、女子栄養大学 堀端 薫准教授、鳩山町栄養士連絡会、学校給食センターによる一次審査（9月中）、その後二次審査（10月27日）では町長、教育長、堀端 薫准教授、学校給食センター職員などの審査員が実際に試食をして審査を行いました。

応募総数79点

各幼稚園・保育園・小中学校にご協力いただき「はとっ子給食レシピ」を募集したところ、「地産地消部門」、「給食でこれが食べたい！部門」の2部門に、町内外から、昨年の45作品を大きく上回る、79作品の応募をいただきました。

障がい者用駐車場 マナーアップキャンペーン実施中

障がい者用駐車場は、車いすを使用している方や、つえを使用している方など、自動車のドアを大きく開けて乗り降りできるようにつくられた駐車場です。しかし、障がい者用駐車場を必要としない方が駐車してしまい、必要な方が駐車できないという声が寄せられています。

県では、障がい者用駐車場マナーアップキャンペーン強調期間を12月9日までの間、実施しています（趣旨は通年で実施）。町でもこの強調期間に合わせ、町内で啓発活動を行い、障がい者用駐車場の適正な利用を呼びかけています。私たち一人ひとりのマナーと思いやりの心で、「ふれあいと支えあいのある安心して暮らせるまち」をつくりましょう。

■問合せ 役場健康福祉課 障害者福祉担当 ☎296-1241 FAX296-3390

その駐車正しいですか？



70歳未満の高額療養費の自己負担限度額が変更
平成27年1月から高額療養費制度が変わります

高額療養費制度とは、医療機関に支払った1か月の一部負担金が、自己負担限度額を超えた場合に、超過分が高額療養費として支給される制度です。限度額は、70歳未満の方と70歳以上75歳未満の方では異なります。また、所得区分によっても異なります。

この度、負担能力に応じて保険料を負担していただく目的で制度改正が行われ、70歳未満の方の高額療養費の自己負担限度額が、平成27年1月から変更になります。

高額療養費制度における自己負担限度額の変更内容
(※70歳未満の方のみ)

平成26年12月まで

区分	所得要件	自己負担限度額
A 上位所得者	基礎控除後の所得600万円超	150,000円 + (総医療費 - 500,000円) × 1% < 多数回該当: 83,400円
B 一般所得者	基礎控除後の所得600万円以下	80,100円 + (総医療費 - 267,000円) × 1% < 多数回該当: 44,400円
C 低所得者	住民税 非課税	35,400円 < 多数回該当: 24,600円

※多数回該当とは、過去12か月間に、同一世帯で高額療養費の支給が4回以上あった場合、4回目以降の限度額となります。

平成27年1月から

区分	所得要件	自己負担限度額
ア	基礎控除後の所得901万円超	252,600円 + (総医療費 - 842,000円) × 1% < 多数回該当: 140,100円
イ	基礎控除後の所得600万円超～901万円以下	167,400円 + (総医療費 - 558,000円) × 1% < 多数回該当: 93,000円
ウ	基礎控除後の所得210万円超～600万円以下	80,100円 + (総医療費 - 267,000円) × 1% < 多数回該当: 44,400円
エ	基礎控除後の所得210万円以下	57,600円 < 多数回該当: 44,400円
オ	住民税 非課税	35,400円 < 多数回該当: 24,600円

スタンプを貯めてお得に楽しく
「コバトンお達者倶楽部事業」
で健康づくりを

「コバトンお達者倶楽部事業」とは、65歳以上の方を対象とした、閉じこもりを防止するための介護予防事業です。鳩山町をはじめ、県内60市町村がこの事業に参加しています。

事業に参加するには、①町地域包括支援センター、役場高齢者支援課、役場東出張所および左記の公共機関で「コバトンお達者倶楽部カード」を本人が受け取ります。

登録店も募集中 町内登録店一覧 平成26年11月1日現在

● 鳩豆工房句の花	● 山室水産
● Yショップ澤屋商店	● 花むすび
● 沼屋商店	● 田島屋酒店
● 福島電気	● ラーメンハウス
● かめや	● とんちん館
● 南ナカダナ	● ミルキーウェイ
● くすり松本	● カラオケ満点星
● 赤沼屋肉店	● カラオケでこぼん
● レストランエルヴィス	● 鳩山石材
● 南ふくいち	【公共機関】
● 焼き肉風	■ 町立図書館
● 藤ヨコタ鳩山ニュータウンSS	■ 町中央公民館
● セブンイレブン鳩山今宿店	■ 町民体育館
● ドラッグセイムス鳩山店	■ 町総合福祉センター
● おしゃもじ食品	■ ニュータウン
● ドラッグストアアセキ鳩山店	■ ふくしプラザ
	■ はーとんカフェ今宿

※最新の情報は県高齢介護課ホームページでご覧いただけます。

生まれてくる赤ちゃんのために
妊娠を希望する方は
まず風しん抗体検査を



妊娠初期の女性が風しんにかかるると、生まれてくる赤ちゃんの耳や目、心臓などに障がいが残ることがあります。(妊娠1か月で感染した場合、障がい発生率は50%以上)

風しんは予防できる病気ですが、妊婦は予防接種を受けられません。このため、妊娠を希望する方は、ぜひ妊娠前に風しん抗体検査を受け、免疫がどのくらいあるかを調べてください。今年度に限り、埼玉県が契約している医療機関で無料で受けられます。

- は予防接種を受けたことがある方、検査で確定診断を受け、風しんの既往歴がある方は対象外です。
- ① 妊娠を希望する16歳以上50歳未満の女性
 - ② ①の配偶者(事実婚を含む)
 - ③ 「妊婦健診の結果、風しんの抗体価が低い(日I法で32倍未満)と判明した妊婦」の配偶者
- 実施期間 平成27年3月31日まで
■ 費用 無料
■ 申込 申込書(県ホームページで入手)を実施医療機関(県ホームページで確認)へ持参してください。
- 問合せ 県疾病対策課 ☎

048183013557

◆ 検査の結果、医師が風しん予防接種の必要性について説明します。

◆ 町では、左記の対象の方に風しん予防接種費用の一部助成を行っています。ぜひご利用ください。

風しん予防接種費用の一部を助成しています

■ 対象 ① 19歳から49歳の女性のうち、妊娠を予定または希望している方
② 妊娠している女性の配偶者(夫)

■ 実施期間 通年

■ 助成費用 医療機関でお支払いいただいた費用のうち、3,000円を助成します。(生活保護受給者は全額助成)

■ 申込 予防接種を受けた後、次のものを持参の上、町保健センターまでお越しください。その場で申請書にご記入いただき、後日お振込みとなります。

① 予防接種を受けたことを証明する書類および領収書原本、② 母子健康手帳の写し(妊婦の夫のみ)、③ 予防接種を受けた本人の振込先の口座を確認できるもの、④ 印鑑、⑤ 受給者証(生活保護受給者のみ)

■ 問合せ 町保健センター ☎ 296-2530

3257+
×÷

はとやま
雑感
町長 小峰孝雄

【今月のテーマ】鳩山高校

10月16日、鳩山高校の体育祭の開会式に、来賓として出席させていただきました。8月の終わりから10月上旬にかけては、例年になく雨が続きましたが、この日は快晴でした。

それ以上に快かったのは、入場行進の際の高校生たちの笑顔で、これから始まる体育祭を本当に心待ちにしていたことがうかがえました。選手宣誓もすばらしかったです。

★ 最近、鳩山高校に関して、いくつか新聞で取り上げられたことがありますが、そのうちのひとつが、インチョン2014アジアパラ競技大会に、鳩山高校の高橋弘人選手(17歳)が7人制サッカーの日本代表として選出され、同校体育館で壮行会が開催されたという記事です。

★ 体育祭の折、その高橋弘人選手のお母さんとお話することができました。日本代表として選出されたことを喜びつつ、鳩山高校を選んだことが、今回の選出につながったというお話がありました。先生や友人に大変恵まれたとのこと、鳩山高校を選んでよかったと何度も話していらっやいました。

★ 今年の体育祭に限らず、卒業式も年々すばらしくなっています。その学年の入学式にも出席していますが、3年経って生徒が成長したことが実感できる卒業式なのです。

★ 11月16日のふれあい広場には、鳩山高校の軽音楽部に初めて出演していただきました。熱演でした。このほか、今年の文化祭では、鳩山町のイメージキャラクター「はーとん」を描いたモザイク絵画の作品が展示されていました。感激しました。



★ ガンバレ、鳩山高校!